

愛知大学 語学教育研究室・言語学談話会

第43回

公開講座「言語」2018 前・後期プログラム
知のミーティング

〔前期〕

会場：愛知大学豊橋校舎 研究館1階 第1・2会議室

都合により会場を変更する場合がありますので、開催当日、研究館等の案内によりご確認ください。

時間：午後2時半～4時半

入場無料・予約不要

2018年

① 5月19日（土）

「外国につながる子ども達と日本語教育」

講師：内田紀子（愛知大学地域政策学部准教授）

司会：片岡邦好（愛知大学文学部教授）

② 6月9日（土）

「なぜツバメをツバメと呼ぶのか」

講師：鈴木健次（日本語研究者）

司会：トーマス・グロース（愛知大学国際コミュニケーション学部教授）

〔後期〕

会場：愛知大学車道校舎 本館13階 第3会議室

都合により会場を変更する場合がありますので、開催当日、本館等の案内によりご確認ください。

時間：午後2時半～4時半

入場無料・予約不要

③ 10月13日（土）

「ドイツ統一と大学改革：ベルリン・フンボルト大学社会学者へのインタビュー調査より」

講師：飯島幸子（愛知大学国際コミュニケーション学部助教）

司会：島田了（愛知大学経営学部准教授）

④ 11月24日（土）

「『大旅行誌』に記された近代知識青年の「ことば」へのまなざし」

講師：塩山正純（愛知大学国際コミュニケーション学部教授）

司会：島田了（愛知大学経営学部准教授）

主催：愛知大学語学教育研究室

共催：愛知大学言語学談話会



公益財団法人 愛知大学
教育研究支援財団

公開講座「言語」2018 前・後期
講師による<百字紹介文>

【前期】

<会場> 愛知大学豊橋校舎 研究館1階 第1・2会議室

都合により会場を変更する場合がありますので、開催当日、研究館等の案内によりご確認ください。

<時間> 午後2時半～4時半

入場無料・予約不要

① 講義日：2018年5月19日

内田紀子 「外国につながる子ども達と日本語教育」

現在、愛知県の公立学校には約12000人の外国人児童生徒が在籍しています。彼らの母語力、日本語力はどのように培われていくのでしょうか。そして私達は同じ地域に住む彼らにどのように関わることができるのでしょうか。「日本語教育」というキーワードを通して一緒に考えたいと思います。

② 講義日：2018年6月9日

鈴木健次 「なぜツバメをツバメと呼ぶのか」

もし文字または個々の音自体に、古くはそれぞれ意味があったのだとすれば、その組み合わせで自在に物事を記述でき、やがて多くの単語が作られてきたのではないか。その復元案としての32個の意味・概念を提示する。

【後期】

<会場> 愛知大学車道校舎 本館13階 第3会議室

都合により会場を変更する場合がありますので、開催当日、本館等の案内によりご確認ください。

<時間> 午後2時半～4時半

入場無料・予約不要

③ 講義日：2018年10月13日

飯島幸子 「ドイツ統一と大学改革：ベルリン・フンボルト大学社会学者へのインタビュー調査より」

ドイツ統一後、旧東ドイツ（DDR）側の社会システムは西側システムへの転換を短期間に迫られました。大学も例外ではなく、「大学改革」の名の下に構造変換が断行されました。旧DDR社会学者の体験を交え、ドイツ統一後の大学改革の概要をご紹介します。

④ 講義日：2018年11月24日

塩山正純 「『大旅行誌』に記された近代知識青年の「ことば」へのまなざし」

愛知大学の前身の一つである東亜同文書院の学生は、正課の集大成として中国大陸はもとより、台湾、東南アジア各地で大旅行調査と呼ばれるフィールドワークをして廻りました。この大旅行調査の旅の記録『大旅行誌』の記述をもとに、近代の日本人知識青年が旅の先々で、「中国語」をはじめとする「ことば」をどんなイメージでとらえていたのか、をテーマにお話したいと思います。